



会記

平成二十八年三月二十七日 日) 叡智庵

第八回 茶事 初底「残水」 正午茶事

文化庁 平成二十七年文化伝統文化親子教室事業

親子茶道教室 茶事 初底「残水」

御客 ○○ △△ 様

○○ ●● 様

□□ ○○ 様

□□ ▲▲ 様

寄付 十時五〇分

席入 十一時

設え

蹲据 手水鉢 (織部)・竹箴・つくばい柄杓

小堀遠州水琴窟 信樂焼 重藏室

扁額 『叡智庵』秀昭書

待合 (見立)

床 軸 福寿康寧 愛新覚羅恒珪筆

花 桜、ジャイブ (黄)、カーネーション

花入 魚籠

初座

煎茶道席 席主 ▼▼ 取次 ■▼





玉露手前

一煎 甘露滴漏

二煎 茶味一碗

干菓子

白湯 白湯一碗

設え

座右荘

床 軸 ありがとう」○○○▽▽書

文房具荘

名水 『東京水』

<http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/tokyo-sui/index.ht>  
ml

茶 玉露 富貴』 京都寺町 蓬萊道茶舗

<http://www.kyoto-teramachi.or.jp/horaido/>

干菓子 彩 菓心たちばな

<https://www.tobachi-tachibana.co.jp/tachibana/>

菓子器 ベトナム

席改め

床 軸 杓底「残水」

カーネーション 一輪 竹 一輪挿

席入り

坐禅 瞑想 四分の一炷 十分) に短縮

懐石席 十二時

前半

敷紙 (桜) 懐石膳 温石箸置き





せんちゃん

飯椀 ご飯一口 (アサリ、ゴボウ茶飯)  
汁椀 味噌汁

一献目 ビール ミりんご・オレンジ ジュース

飯器・汁替 略)

向付 ギャコ天、卵焼き)

煮物椀 大根、里芋、人参、茄子、隠元、梅麩、炊合じり

二献目

焼物鉢 鮭(焼物)

強肴 昆布豆、ヒジキ煮、蓮根真薯、杏)

飯器・汁替、辞退

小吸物 箸洗い) 略)

後半

三献目

八寸 山玉露茶葉ポン酢浸し

海ままかり黄金酢

手塩皿に取分け

ちどりの盃 一献に省略 冷酒 真澄)

香の物 伏庵(湯斗 浄水 べようすい)、ポット)

行鉢 ぎょうはつ) 知足・餓鬼への分け煎

<http://www.soto-kanto.net/>

主菓子 練切 桜 菓心たちばな

銘々皿、懐紙、黒文字



せんちゃん



せんちゃん

中立：席改め

床 軸 春」□ □ ● ●書  
文房具荘

後座 席入り 十三時半

茶の湯席 亭主 ● ● 半東 ▽ ■

初炭 電気炉(に省略)  
前半 茶の湯 濃茶席 各客一碗練 略)  
後炭 電気炭に付き略)

後半 茶の湯 薄茶席

設え

風炉 面取風炉 唐銅 唐銅師 麻生雄芳作

釜 万代屋釜 利休好写 佐藤浄清作

水指 作者不詳

柄杓 風炉用 奈良高山 竹茗堂 久保左文作

建水 蓆葉(たばこば) 西尾瑞豊作  
<http://www.chasen.jp/index.html>

オランダ阿蘭陀 和蘭 紅毛

蓋置 青竹

薄器 利休型中棗

茶杓 煤竹 來果作 銘 知足」

黒樂 利休七種茶碗 長次郎写し 鉾用」佐々木照樂作

茶碗 松竹梅

赤樂 利休七種茶碗 長次郎写し 早舟」佐々木照樂作

茶碗 御本手 霞桜 桜の絵 小倉寅介作

替茶碗……

茶筥 百本 奈良高山竹茗 ちくめい)堂 久保左文作

<http://www.chasen.jp/index.html>



せんちゃん



茶 薄茶 蓬萊 青松園

<http://www.odakyu-halc.jp/cm/shop/shop017>

菓子盆 扇面絵替り盆

干菓子 彩 雲母 菓心たちばな

<https://www.tokachi-tachibana.co.jp/tachibana/>

退室

席主 煎茶道席 ○ ○ ○ ▽ ▽ ▽ ● ▽ ▽

茶の湯席 □ □ □ ● ● ● ▽ ▽ ▽

叡智庵主 證道來果 陽澤秀昭

以上



文化庁 平成二七年度伝統文化親子教室事業

親子茶道教室茶事 「杓底一残水」

修了証書授与式

記念撮影

開催者及び客 懇親会

一期一会

独座観念

散会



杓底一残水 十やくていのいちざんすい  
汲流千億人 ながれをくむせんおくにん

<http://www.soto-kanto.net/>  
茶事 「杓底一残水」

<http://www.cosmos-gi.co.jp/base3.html>

主催 叡智得留倶楽部  
[www.cosmos-gi.co.jp/hl\\_club.html](http://www.cosmos-gi.co.jp/hl_club.html)







せんちゃん

## 茶事 「杓底一残水」の目的

- 一、茶事を通し「杓底一残水（やくていいちざんすい）」、「より多くの方が幸せ（よきせ） 汲流千億人（くみりゅうせんいびにん）がれをくむせんおくにん）」になり、自己も幸せを感じることに。
- 二、誰でもが一人でも気軽に流派、形式にこだわらず、和の総令伝統文化「茶事（ちやじ）」を催す。
- 三、「茶道（ちやどう）」を身に付け、グローバル社会で和（わ）日本ではない）の伝統文化を語り、所作が出来る。

## 知足

紛争地では多くの市民、子供が命からがら逃げ廻っている。それらを多くのジャーナリストが命を掛け、世界から情報を発信している。そして、命を落としている。それらの情報を私たちはどのように受け止め、そして・・・う。

## 名水 「東京水」

日本では水道の蛇口を開けば、清潔な美味しい水が簡単に飲める。しかし、世界では飲み水が無い、入手できても清潔でない、未だに水汲みさせざるをえない地域が多くある。我々は如何に幸せなことではないか？

## 食物

日本では近隣のお店で、多種多様な食物を簡単に入手できる。世界では未だに、食物が足りず、今、命を落としている人が多く居る。反面、肥満で生活習慣病になる人、食べ残し、賞味期限切れで多くの食物が廃棄される現実がある。これは何なのか？

## 杓底一残水

今日、食べ、楽しめた人が、「一残水」を川の流れに戻す

## 汲流千億人

戻した流れを今、世界の飢えている人々に確実に流し、生活環境を作る

## 茶事 「杓底一残水」

この流れを確実にする仕組み作りをし、底上げを確実にする活動



ちやーちゃん